

平成29年7月13日

各 位

会 社 名 TONE株式会社
代表者名 取締役社長 松村 昌造
(コード 5967 東証第二部)
問合せ先 管理部長 井上 昌良
(TEL 06-6649-5967)

平成29年5月期通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、平成28年7月13日に公表いたしました平成29年5月期（平成28年6月1日～平成29年5月31日）通期業績予想と本日公表の実績値について差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成29年5月期通期業績予想との差異

(1) 連結業績予想と実績値の差異（平成28年6月1日～平成29年5月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	5,770	1,030	1,030	600	円 銭 58.21
今回修正予想 (B)	5,784	1,399	1,419	1,052	102.12
増 減 額 (B-A)	14	369	389	452	-
増 減 率 (%)	0.2	35.8	37.8	75.3	-
(ご参考) 前期実績 (平成28年5月期)	5,494	983	944	560	54.43

(2) 個別業績予想と実績値の差異（平成28年6月1日～平成29年5月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	5,760	1,030	600	円 銭 58.21
今回修正予想 (B)	5,772	1,445	1,072	104.06
増 減 額 (B-A)	12	415	472	-
増 減 率 (%)	0.2	40.3	78.7	-
(ご参考) 前期実績 (平成28年5月期)	5,488	998	617	59.89

2. 差異の生じた理由

売上高につきましては、新製品群の投入効果や幅広く展開した販促活動などを背景に当初予想どおり推移いたしました。一方、損益面につきましては、東京オリンピックを控え、今後本格化する鉄骨土木建築の増加に備え、機器類製品を中心に在庫を積み増したことによる増産効果が製造原価低減に繋がったことや、滞留在庫の評価減が減少したことなどにより各利益は前回予想を上回りました。

※詳細につきましては、本日公表の「平成29年5月期 決算短信」をご参照ください。

以 上